

2022年 9月 25日

# 主 日 礼 拝

司 会 ②白川 達男兄  
 奏 楽  
 祈 禱 ②石井 秀人兄  
 賛 美 聖歌481番 ~主は道を造られる~  
 十 戒

聖書朗読 ルカによる福音書18章1~8節  
 特別賛美 プレミアム・クワイア  
 メッセージ 「私たちの主は全地の王である」  
 石井 潤 牧師

献 金 聖歌256番 ~主は今生きておられる~  
 祝 禱  
 お知らせ [司会者]  
 賛 美 ~喜びがある~

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします! ☆  
 《今週のお知らせ》

- ★本日も礼拝の恵みを感謝致します! 今週も主の守りと助けをお祈り致します!
- ☆今週の祈り会: ○早天祈禱会: 明朝6時~。◎祈禱会: 木曜午前10時半~/夜7時半: 大和祈禱会ライブ映像に参加。 ○準備祈禱会: 土曜夜8時~。
- ★来週の日曜礼拝には誕生祝福式が行われます。〈司会: 石井兄/祈り: 小山姉〉

◇予告: 10月16日(日) 12:30~ 「秋の召天者記念礼拝」◇

☆一年に一回聖書を完読できる! Bible Reading Plan [9/25-10/2]								
Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	イザヤ 10:24-13	14-16	17-20	21-23	24-26	27-28	29-30	31-33
新約	2 コリント 13	ガラテヤ 1	2	3	4	5	6	エペソ 1
チェック	○○○○○	○○○○	○○○ ○○	○○○ ○	○○○ ○	○○○	○○○	○○○○

## 「私たちの主は全地の王である」

～ユダヤ教の祭「年頭祭（ラッパの祭）」から～

「もろもろの民の氏族よ、主に帰せよ 栄光と力を主に帰せよ。御名の栄光を主に帰せよ。供え物を携えて御前に来て 聖なる輝きに満ちる主にひれ伏せ。全地よ、御前におののけ。世界は固く据えられ 決して揺らぐことがない。天は喜べ。地は喜び躍れ。国々で告げ知らせよ。主が王である。」  
歴代志上16章28～31節 [2018年協会誌]

9月の終わりから10月の初めにかけてなされるユダヤの祭が幾つかあります。最初は「年頭祭」で、ヘブライ語では、ロシュ・ハシャナーといひます。そして、贖罪の日の祭、そして、仮庵の祭がなされます。この時期は秋の収穫をお祝いする季節でもあります。ブドウやオリーブやいちじく、その他の果実の収穫がなされます。

この最初の「年頭祭」では、角笛を鳴り響かせて、「主が王である!」と宣言し、自分たちの王は主ご自身であることを決して忘れないで、信仰に堅く立つ時でもあります。そして、それが新年のスタートとなるのです。太陽暦の3-4月には過越の祭があり、このときも新年と呼ばれています。ユダヤ人には二種類の暦があり、宗教歴では過越の祭が新年ですが、市民歴では9-10月が新年になります。その秋の初めは「主は王である!」ことを宣言するのです。

この「年頭祭」の時には、「シャナ トバ！（よい年を！）」とあいさつし、どんなに苦しい現実の中にあっても、主が自分たちの王であるのだから、何があっても希望を捨てない！ということを確認め合うのです。

ユダヤ人の歴史は血と涙の歴史でもあります。1000年以上も他国に身を寄せ寄留者、難民、よそ者として過ごし続けてきました。時には迫害や虐殺に遭い、理由もなくただ痛めつけられ、苦しめられました。自分がユダヤ人であるということをひたすら隠して生きてきた歴史でもあったでしょう。自分が自分でない、自分のアイデンティティを受け入れてもらえない社会の中で生き続けてきました。それでも、自分の民族としての誇りを持ち続けることができたのは、彼らの信仰によるものでした。彼らにとっての祭は、自分のアイデンティティを思い出すための大切な記念日でもあったのです。

また、新約聖書の福音を信じるメシアニックジューと呼ばれる人たちは、イエシュア（イエス）を救い主と信じ、やがてご再臨される方を待ち望んで信仰を握り直すのだそうです。

「神は、定められた時にキリストを現してください。神は、祝福に満ちた唯一の主権者、王の王、主の主、唯一の不死の存在、近寄り難い光の中に住まわれる方、誰一人見たことがなく、見ることのできない方です。この神に誉れと永遠の支配がありますように、アーメン」

テモテへの第一の手紙6章15,16節 [2018年協会誌]